

定期作況報告

(平成24年7月20日現在)
上川農業試験場天北支場

I 気象概況

6月下旬から7月中旬までの気象は以下のように推移した。
6月下旬：平均最低気温が9.9℃(-1.0℃)と平年よりやや低かったが、平均気温は14.1℃(-0.3℃)、平均最高気温が18.5℃(対平年比+0.2℃)と平年並であった。降水量は10.0mm(39%)と平年より少なかった。日照時間は67.2時間(136%)と平年よりやや長かった。畑地温は12.9℃(+2.1℃)と平年より高かった。
7月上旬：平均最高気温は21.5℃(+2.1℃)、平均最低気温は14.1℃(+1.6℃)と平年より高かったため、平均気温は17.1℃(+1.4℃)と平年よりやや高かった。降水量は31.5mm(131%)と平年よりやや多かった。日照時間は33.6時間(78%)と平年よりやや短く、畑地温は15.4℃(+1.0℃)と平年よりやや高かった。
7月中旬：平均最低気温が12.3℃(-0.7℃)と平年よりやや低かったため、平均気温は15.3℃(-0.5℃)と平年よりやや低かった。降水量は63.0mm(127%)と平年よりやや多く、日照時間は47.7時間(156%)と平年より長かった。畑地温は15.8℃(+1.5℃)と平年より高かった。

以上、この期間を要約すると平均気温の3旬の平均は15.5℃(+0.2℃)と平年並だった。降水量の3旬の合計は104.5mm(105%)と平年並であった。日照時間の3旬合計は148.5時間(121%)と平年よりやや長かった。畑地温は14.6℃(+1.5℃)と平年より高かった。

4月からの主気象要素の積算値は、平均気温、日照時間、畑地温は平年並に推移している。一方、降水量は平年の66%と平年より少なく推移している。

a. 気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	14.1	14.4	△ 0.3	17.1	15.7	1.4	15.3	15.8	△ 0.5	15.5	15.3	0.2
平均最高気温(℃)	18.5	18.3	0.2	21.5	19.4	2.1	19.0	19.0	△ 0.0	19.6	18.9	0.7
平均最低気温(℃)	9.9	10.9	△ 1.0	14.1	12.5	1.6	12.3	13.0	△ 0.7	12.0	12.1	△ 0.1
降水量(mm)	10.0	25.7	△ 15.7	31.5	24.0	7.6	63.0	49.7	13.3	104.5	99.4	5.1
降水日数(日)	3	4	△ 1	5	3	2	4	5	△ 1	12	12	△ 0
日照時間(hrs)	67.2	49.4	17.8	33.6	43.1	△ 9.5	47.7	30.5	17.2	148.5	123.0	25.5
平均畑地温(10cm,℃)	12.9	10.8	2.1	15.4	14.4	1.0	15.8	14.3	1.5	14.6	13.1	1.5
最多風向	E			ENE			ENE					
平均風速(m/s)	2.9			1.7			3.0					

注1) 平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。
2) 平年値は前10か年の平均より上川農試天北支場作成。

b. 主気象要素積算値(4月21日～7月20日)

	平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (hrs)	畑地温 (℃)
本年	1,069	152	491	831
平年	1,044	231	439	875
比較	24	△ 79	52	△ 44

Ⅱ 作 況

1. 採草型 チモシー（2番草）

作況：やや良

事由：7月上旬は平年に比べて平均気温がやや高く、降水量もやや多かったために、再生後の生育が促進され、草丈は平年より8cm高かった。

以上より、目下の作況はやや良である。

調査項目：

草 丈（2番草・cm）		
本年	平年	比較
41	33	8

注）平年値は前7か年のうち、平成20年（最豊年）及び平成22年（最凶年）を除いた5か年平均値。

2. 放牧型 ペレニアルライグラス（3番草）

作況：やや良

事由：草丈は平年に比べて7cm低い、乾物収量は7%多かった。3番草生育期間全般を通じて畑地温が平年より高く推移し、7月上旬以降は降水量も多く推移したことから、生育が促進されたと考えられる。

以上より、目下の作況はやや良である。

調査項目：

草 丈（cm）		
本年	平年	比較
31	38	△ 7

生草収量（kg/10a）			乾 物 率（％）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
958	828	130	16.5	18.3	△1.8	158	148	10	107 %

注）平年値は前7か年のうち、平成18年（最豊年）及び平成22年（最凶年）を除いた5か年平均値。